

(アンケート調査)

## 定年退職した夫の昼ごはん、どうしていますか？

### 調査の概要：

ベターホーム協会では定年後の男性の生活自立を支援するため、1991年から男性向けの料理教室を行っている。現在、全国で約6500人の男性が通っているが、最も多いのが60代の男性。定年退職が、料理をはじめのきっかけになっている。

妻が料理作りを担っている家庭で、夫が料理をはじめするには、妻の協力が欠かせない。夫が料理をすることについて、この世代の妻はどう思っているのだろうか。

また、夫が退職して日中家にいることが多くなると、昼食も家で食べるが多くなる。妻が家にいる時と留守にする時、夫の昼食をどうしているのかを調査した。

調査対象：全国の定年退職した男性の妻 412人

### ・本人(定年退職した男性の妻)の年齢と職業構成

	50代	60代	合計
無職	70人	269人	339人
有職(パートタイム)	36人	26人	62人
有職(フルタイム)	8人	3人	11人
合計	114人	298人	412人

### ・夫の年齢と、定年退職後の現在の職業構成

	50代	60代	70代	合計
無職	14人	219人	90人	323人
有職(パートタイム)	9人	68人	12人	89人
合計	23人	287人	102人	412人

調査時期：2013年6月

調査方法：インターネットによる調査

調査地域：全国

回答比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入したため、単一回答でも、個々の比率の合計が100%にならないことがあります。

一般財団法人ベターホーム協会

150-8363 東京都渋谷区渋谷 1-15-12

2013年09月

## 調査のまとめ

定年退職した夫の昼ごはんは、「妻が作る」が8割で最多。

そのうち半数は、留守にする時も夫の昼食を作り置く。

・定年退職した男性の妻に、夫が家にいる日の昼食をどうしているかを聞いたところ、「妻本人が作る」という回答が、82.0%で最多。「夫が作る」「夫と分担して作る」と答えた人がそれぞれ10.0%。自分で昼食を作っている夫は少数派である。

・また、夫の昼食を「妻本人が作る」と答えた人のうち52.1%は、自分が留守にする時も昼食を作り置くと回答した。

夫が料理を「作れる」という人は4人に1人と少ないが、約半数は「簡単なものなら作れる」と回答。日常的には料理をしないので、腕前が上がらない！？

・夫が料理を作れるかどうかを聞いたところ、「作れる」が26.9%、「インスタントラーメンや炒めものなど簡単なものなら作れる」が47.1%。「作れる」と答えた人は4人に1人程度だが、「インスタントラーメンや炒めものなど簡単なものなら作れる」という人は半数近くにのぼる。夫は料理にまったく無関心というわけではないようだ。

・夫が料理を「作れる」「インスタントラーメンや炒めものなど簡単なものなら作れる」と答えた人に、夫の家での料理の頻度を尋ねたところ、「よくする」が14.1%、「時々する」が21.0%で合計が35.1%。「ほとんどしない」が50.2%、「しない」が14.8%で合計が65.0%。昼食だけではなく、家で料理をする習慣がない人の方が多い。小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が101%になっています。

・まったく料理ができないわけではないが、簡単なものしか作れない夫の割合が多いのは、腕前が上達するほど料理をする機会がないからだろう。

3人に1人は「夫に料理をして欲しいと思わない」と回答。「キッチンが汚れる」「うまく作れない」「材料費が高くてつく」などの実質的なデメリットを懸念するほか、「料理は自分の役目」というテリトリー意識から精神面での抵抗がある妻も。

・まったく料理ができないわけではないのにしない夫のことを、妻はどう思っているのだろうか。

・夫に料理をして欲しいと思うかどうかを聞いたところ、「料理をして欲しい」と答えたのは62.4%。一方、3人に1人に当たる37.6%が、「夫に料理をして欲しいと思わない」と答えている。

・「夫に料理をして欲しいと思わない」と答えた人にその理由を尋ねたところ、多かった回答は、順に「キッチンが汚れるから」(80.9%)「うまく作れないから」(78.2%)「材料費が高くてつくから」(67.7%)。夫が料理をするとデメリットがあり、自分がやった方が合理的だと考えている。

・さらに、「夫に料理をして欲しいと思わない」と回答した人のうち51.4%が、「料理は自分の役目だから夫がやらなくてもいい」と答えた。中高年世代では、いまだに「男子厨房に入らず」と考えている妻は、案外多いようだ。

定年退職した男性が生活自立能力をつけるためには、妻の意識改革も必要

・普段妻が料理を担っている家庭でも、妻が料理を作れなくなった時や、また親の介護が必要になった時などに備え、夫が自立して生活をできるだけ料理能力をつけておくことが必須である。普段妻が料理を担っている家庭で、夫が料理を習得するには、妻の理解とサポートが欠かせない。

・最初は失敗したりキッチンを汚したりということがあるかもしれないが、料理は続けると上達し、後片付けも習慣づけばできるもの。長年料理を担ってきた妻にとっては、キッチンは大切なテリトリーかもしれないが、将来を考え、夫に開放する勇気を持って欲しい。

・一方で、夫側も料理をする際は、普段料理をしている妻に敬意を払い最初は妻のやり方に従う、後片付けまでしっかりするなどの気遣いが必要である。

1. 夫が家にいる日の昼食は、どうしていますか。いくつでも選んでください。(数値は%)

あなたが作る	82.0
買ってきたものを食べる	14.1
外食	10.9
残りものを食べる	10.7
あなたと夫で分担	10.0
夫が作る	10.0
あなたと夫以外の家族が作る	1.5
昼食を食べない	0.7

・夫が退職して日中家にいることが多くなると、昼食も家で食べるが多くなる。定年退職した男性の妻に、夫が家にいる日の昼食をどうしているかを聞いたところ、「あなた(妻本人)が作る」という回答が、82.0%で最多だった。

・「夫が作る」「夫と分担して作る」と答えた人がそれぞれ 10.0%。自分で昼食を作っている夫は少数派である。

2. 夫が家にいない日のあなたの昼食はどうしていますか。いくつでも選んでください。(数値は%)

あなたが作る	69.2
残りものを食べる	53.4
買ってきたものを食べる	24.0
外食	7.5
あなた以外の家族が作る	1.5
昼食を食べない	1.0

・夫が家にいない日は、妻は昼ごはんをどうしているのか聞いた。「あなた(妻本人)が作る」という人は、69.2%で、夫が家にいる日より12.8ポイント下がる。

・また、夫がいない日という日で大きな差があったのは、「残りものを食べる」という回答。夫がいない日は53.4%だが、夫が家にいる日は10.7%と、43.4ポイントの開きが出た。夫がいない日は残りもので済ませても、夫がいるとそういうわけにはいかない人が多いようだ。

3. 設問1で、 と答えた方にうかがいます。あなたが留守にする時、夫の昼食はどうしていますか。いくつでも選んでください。(数値は%)

あなたが作り置く	52.1
買ってきたものを食べてもらう	37.0
夫が作る	34.3
外食してもらう。	24.0
残りものを食べてもらう	18.6
あなたと夫以外の家族が作る	1.2
夫は昼食を食べない	1.0

・夫が家にいる日の昼食を「あなた(妻本人)が作る」と答えた人に、自分が留守にする時はどうするのかを聞いたところ、52.1%と半数以上が「あなた(妻本人)が作り置く」と答えた。

4．あなたの夫は料理を作れますか。1つだけ選んでください。(数値は%)

作れる	26.9
インスタントラーメンや炒めものなど簡単なものなら作れる	47.1
作れない	25.7

・夫が料理を作れるかどうかを聞いたところ、「作れる」と答えたのは26.9%と、3割に満たない。しかし「インスタントラーメンや炒めものなど簡単なものなら作れる」と答えたのは47.1%で半数近くにのぼる。夫がまったく料理ができないために、妻が夫の昼食作りを担っているというわけではないようだ。

5．設問4で と答えた方にうかがいます。あなたの夫は家で料理をしますか。1つだけ選んでください。(数値は%)

よくする	14.1
時々する	21.0
ほとんどしない	50.2
しない	14.8

・夫が料理を「作れる」「インスタントラーメンや炒めものなど簡単なものなら作れる」と回答した人に、家での夫の料理頻度を聞いた。

・「ほとんどしない」「しない」を合わせると、65.0%。6割以上が、日常的には料理をしていない。

6．夫に料理をして欲しいと思いますか。1つだけ選んでください。(数値は%)

思う	62.4
思わない	37.6

・まったく料理ができないわけではないのに、しない夫が多い。妻はどう思っているのだろうか。

・夫に料理をして欲しいと思うかどうかを聞いたところ、「料理をして欲しい」と答えたのは62.4%。

・一方で、37.6%が「夫に料理をして欲しいと思わない」と答えた。夫が料理をすれば妻は楽ができそうなので、第三者からすると少し意外な結果である。

7. 設問4で と答えた人にうかがいます。夫に料理をしてほしいと思わない理由は？いくつでも選んでください。(数値は%)

キッチンが汚れるから	80.9
うまく作れないから	78.2
材料費が高つくから	67.7
料理は自分の役目なので夫がやらなくてもよい	51.4
料理をしたことを威張るから	22.2

・「夫に料理をして欲しいと思わない」と答えた人にその理由を尋ねた。

・最も多かった回答は、「キッチンが汚れるから」。「夫は後片付けをしない」と記入している人もいた。たしかに、自分が後片付けをしないと、夫に料理をしてほしくないと思う気持ちもわかる。次に多かったのが、「うまく作れないから」。日頃料理をしている妻に比べて腕前が落ちるのは、しかたのないことだが…。次に、「材料費が高つくから」が続く。高い材料を買って来たり、普段使わない調味料を揃えたり、料理初心者の男性は応用がきかないためレシピ通りに材料を揃えたがる人が多い。また、家にあるのに気がつかずに買って来ることもあるだろう。妻は、夫が料理をすることによる実質的なデメリットへの懸念があり、自分がやった方が合理的だと考えているようだ。

・さらに、「夫に料理をして欲しいと思わない」と回答した人のうち 51.4%が、「料理は自分の役目だから夫がやらなくてもいい」と答えた。いまだに「男子厨房に入らず」と考えている妻は、案外多い。

・普段料理をしない人がいざという時にいきなりするのは大変なこと。妻が料理を担っている家庭で、夫が料理をはじめようと思うと、妻の協力と理解が欠かせない。最初はデメリットも多くあると思われるが、いざという時に備え、妻は夫にキッチンを解放する勇気を持つことが必要だ。

以上